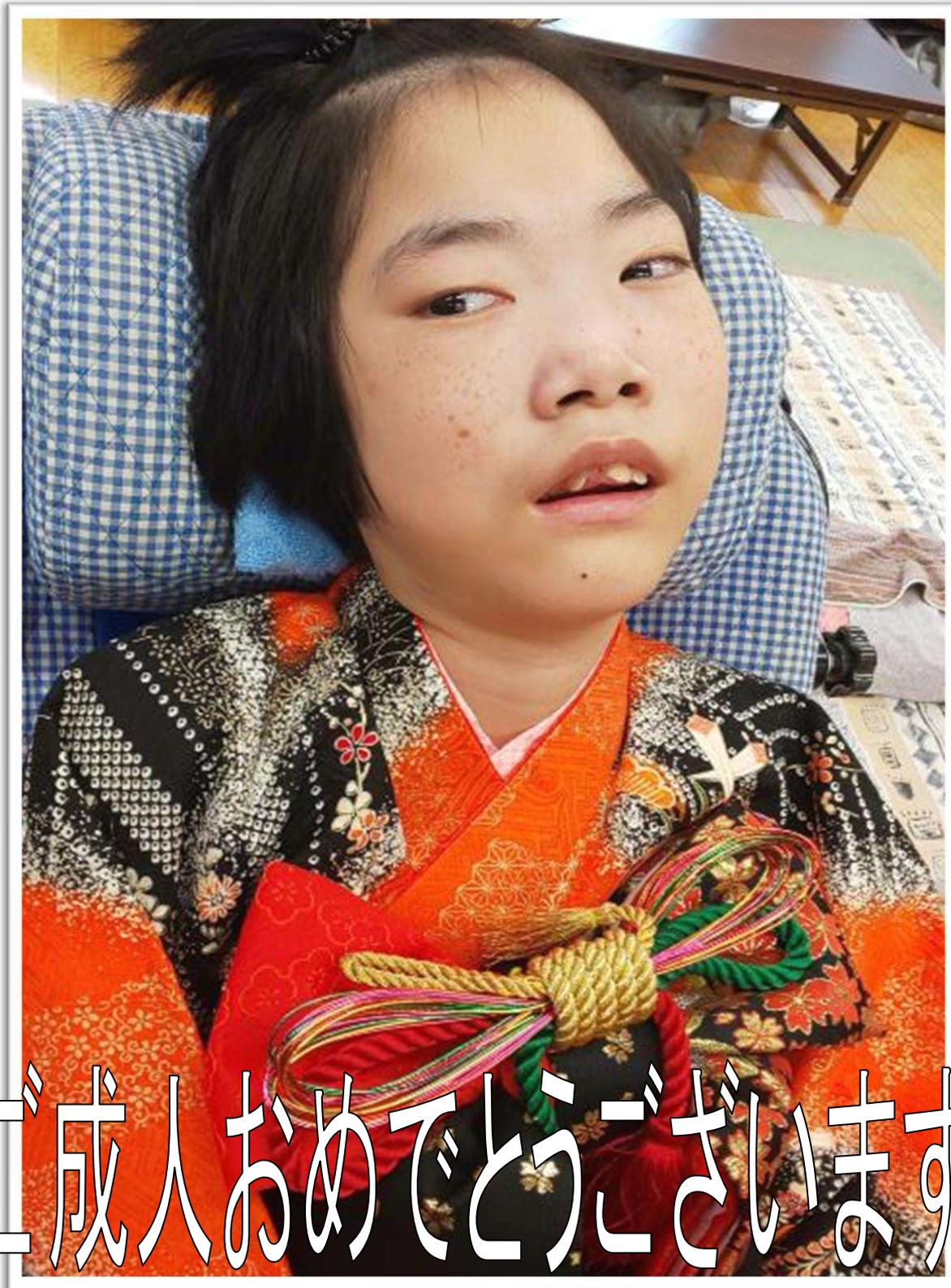


AJU麦の会&麦の里ニュース

第 116 号 令和二 (2020) 年 12 月 1 日発行

定価 100 円



令和二年

十二月一日 (毎週火曜日発行)

AJU通巻

増刊第一四〇三二号

昭和五十四年八月一日第三種郵便物承認

発行所・東海身体障害者団体定期刊行物協会

中区丸の内三―六一四三

みこころセンター4F

定価一〇〇円

～ 成人を祝う会 ～

●○今年は、成人を祝う会を、2ヶ月ほど早めて開催しました！○●

☆ 歌のプレゼント 「One Love」 ☆

今回は仲間の希望で、嵐の「One Love」に決めました♪

曲が決まってからは、歌の練習以外にも、手話の練習、「楽器がやりたい」という仲間もいたので、自前の楽器やタンバリンなどの練習。本番は麦らしく、仲間たちが真剣に、でも、それぞれのペースでお祝いの気持ちを贈って、会が始まりました！！



☆ 車いすダンス ☆



わくわく発表会の後、“次は芹奈さんの成人式だ”と意気込んで、練習には約半年を費やしました。「ミッキーマウス・マーチ」「ドラえもん」「パプリカ」「さんぽ」の4曲。練習の時には、職員にタッチされるたびに、嫌な顔をしていましたが、本番に強い芹奈さん。練習と同じようにタッチされても、とても落ち着いて堂々としていました♪



☆ マジックショー ☆

Rさんは、成人式でマジックをやりたいという話をすると快く承諾して練習開始。初めてという事でしたが、すぐに内容を理解して、堂々と披露していました！

NさんとTさんがマジックに参加することが決まったのは、わずか2週間前。毎日のように練習するものの、なかなかうまくいかず…それでも本番になると、Nさんはマジックだけでなく、いつの間にか流暢におしゃべりまでできるようになっていました！

Tさんは本番が近づくとつれ、緊張で不安そうに…練習通りに本番も成功でき、安心したような、達成感のある表情でした。



☆ ビンゴ大会 ☆



参加者全員によるビンゴ大会。楽しみにしているのは仲間だけでなく、保護者の方や職員も同じ、もしくはそれ以上（笑）番号のくじを仲間が1枚ずつ引いていくたび、「あった！」「ない！」など大盛り上がり。なんと1等は商品券5000円分！当たったTさんは、商品をもらうと嬉しそうに小躍りをして席に帰って行きました。同時にビンゴになった人によるじゃんけん大会など、白熱したコーナーになりました。

この日の為に、ビンゴを担当していた職員は80等まで景品を用意してくれていました。そして、多くの方々からご寄付、物品をいただきました。多くの皆様がこの場をおかりして、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました！



☆ 生い立ち紹介 ☆



2021年3月になると20歳になる芹奈さん。

3人兄妹の2番目。昔から兄妹仲良し。

「幼い頃から、てんかんや腸の病気になり、不随意運動がひどく、よく笑う子だった芹奈さんから、笑顔が消えるくらい強い薬を使っても治まらず…不随意運動に効果があるかも知れないとのことで、パーキンソン病の方に使われている脳外科の手術に踏み切って、今ではだいぶ落ち着いてきました。…」という話を聞きました。幼い頃の兄妹でくっついている笑顔いっぱいの写真や、激しい不随意運動の映像を観て、幼少期から成人までの間に、今の芹奈さんの落ち着いた姿からは想像ができない程の事があったのだと、目頭が熱くなりました。

☆ 芹奈さんのご家族からのメッセージ ☆

< 芹奈さんのお母様から >

仲間の皆さん、職員の皆さん、関係者の皆さん、19年間見守り続けて下さった多くの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです！素敵な会を開いて下さり、本当にありがとうございました。

小さい頃から不随意運動が続いてしまい、つらくて苦しい日々を過ごしてきた芹奈が、生まれて初めて着物を着て、一緒に祝って下さる仲間にもまれて、楽しい会に参加できる日がくるなんて、親として全く想像できず、夢のような時間でした。

生い立ちを振り返り、改めて涙してしまう事もありましたが、今こうして落ち着いて生活できている事を幸せに思い、この先も長く続けてくれるよう願ってやみません。

麦の里の皆さんと出会えてよかった！そして、これからもよろしくお祈りします。

楽しく、元気に！来年3月、20歳の誕生日を迎えて、ますます素敵な生活が送れますように。

< 妹さんから >



素敵な会を開いていただき、ありがとうございました。私は妹なので、姉の小さい頃のことを知りませんでしたが、今回の会でよく知る事ができたので、嬉しく思います。また、いつもと違う姉の姿を見る事ができましたし、新型コロナウイルスで大変な状況のなかでもよい記念になりました。

とても楽しかったです。本当にありがとうございました。

☆ 紙吹雪 ☆

最後は麦の里恒例の紙吹雪。みんなでおめでとうの気持ちを込めて、紙吹雪でお見送り。主役の芹奈さんは、たくさんの紙吹雪にびっくり？顔にかかってちょっと迷惑？な顔をすることもありましたが（笑）みんなの想いのこもったあたたかい式になりました！

ちなみに大量の紙吹雪は、この日のためにと、毎回麦の里の仲間と職員で干切っています。今回は紙を無駄にしたくないと考え、生ゴミ和えのボカシと落ち葉とを混ぜて、土に返そうと混ぜました！



☆ 芹奈さんへのメッセージ ☆

麦に通いだした当初は“普通に”通う事ができるか、体調が心配な面もありました。それでも、今では麦の里に通うことが当たり前になった芹奈さん。麦の里にもだいぶ慣れて、遊んでいるときは楽しそうな表情をしたり、どや顔したり、構ってほしいと人を呼んだり、怒ったり。表情がどんどん豊かになってきました。これからももっと楽しいことを一緒に経験して、素敵な女性になってくださいね！



～ ボーリング大会 in 麦の里～

今年度は、コロナの影響もあり、ウェルフェアボーリング大会が中止となりました。毎年楽しみにしている仲間もいたので残念でした。そのような中で、仲間たちと定例会の活動内容について希望をとったところ「ボーリングをしたい」という意見がありました。

このような経緯から、今回「麦の里 室内ボーリング大会」を開催することとなりました。

今回の「ボーリング大会」は「様々なボールを使って」ということをコンセプトにしました。「ボーリング用のボール、サッカーボール、ソフトボール」等くじを引いてボールが決まり、そのボールを使い、ピンを倒した数を競うというルールで取り組みました。

Aグループの仲間も Bグループの仲間も一緒に作業室で、療護グループの仲間たちは、午前中に療護で取り組みました。レーンも手作りでのボーリング大会。準備から仲間たちは、張り切っていました。実際のボーリング大会も、それぞれが精一杯ボールを転がして楽しみました。休憩時には練習もしたりして、とても楽しい雰囲気に包まれていました。各グループで成績の良かった仲間に表彰状が送られ、この表彰式には Aグループ、Bグループ、療護グループの仲間たちが集まって揃って表彰。とても一体感のある表彰式となりました。

作業・療育活動においては、A・B・療護に分かれての活動が多い中で、例会活動は、一緒になって取り組める活動です。違うグループの仲間を意識しながら活動に取り組むことで仲間意識がより一層深まると感じました。次回の例会活動も仲間・職員ともに楽しみにしています。



グループごとの1等賞！！





仲間紹介

なかがわけんじ

中川健司さん

冗談やいたずら大好き。仲間や職員にあだ名をつけたり、面白いと思ったことを皆に共有したり。健司さんからの報告や、髪に息を吹きかけたり、頭をポンポンとする等、ちょっかいを待っている仲間もいます。

長所といえば、細やかさと一途さ、心優しい健司さんは、職員が分からないことがあると、すぐに走って物の在り処を教えてくれたり、他の人に聞きに行ったりしたりと周囲の事によく気が付いています。大好きな乾電池は車に乗って走っていても、中央分離帯の縁石にたまっている落ち葉に紛れているような古乾電池を探しています。それが仇となつてか、1つの事が気になると、そのとげが抜けるまではなかなか次の事に気持ちが向けられません。それでも麦の里での20年の活動を積み重ね、できる作業も増えて安定して通えるようになりました。得意な作業は“チェック”。製品のミスを見つけると、とても嬉しいし、意欲が倍増して作業量も増えています。ただし、人のミスは喜んでいますが、自分のミスや失敗は引きずることも多いです。

「自我は鳴り物入りで登場する」という言葉を何度もかみしめました。自信のついたことは、人にも説明できるし、余裕を持ってできるのに、新しいこと、失敗したことには、手が出ないし、臆病にさえ見えます。「自我が弱い」ということはこういうことなのだなと。できるようになった時のなんと騒々しいことか、そして誇らしげなことか。見かけはすっかり40代だが心は幼くて、上がったたり、下がったり。以前は休むこともありましたが、それでも以前より仕事に自信がついてきたのか、“麦の里に来る”という事が本人の中にできてきました。心静かに作業に迎える時間を増やし続け、“分かってもらえなかった”と、気づいてもらおうとするだけでなく、自分の思いを言葉として発信することができますようにと願っています。

アグネスコラム

悪いことをしてしまった時、あなたはどのようにその場をやり過ごしますか？
すぐに謝るでしょうか？

“謝って”“謝りなさい”と周囲から要求するのはいかがなものでしょうか？
促すことは大切ですが、人の気持ちは強制するものではありません。

心から詫びたいと感じた時、あなたが人を許し、許されますよう願っています。





新人職員紹介

いとう もえ
伊藤 萌さん

以前、麦の里で働いていた母から、日々仕事の出来事を楽しく聞いていたという萌さんは、その影響で麦の里に就職し、7月から正職員として働き始めました。21歳です。

両親は愛知県出身ですが、“田舎に住みたい”という理由で福井県敦賀市に引越し。それから福井で生まれ育った萌さんは、10歳の頃、両親が“戻ろう”と言い愛知県へ。家族は両親と姉1人、兄2人、妹1人の7人家族。ちなみに、ご家族の名前は皆さんマミムメモで始まるそうです。

商業高校を卒業後、音響関係の専門学校へ進学。製造業や歯科助手、店内でのレジ業務や飲食業でのホール接客等を経験。趣味は、週刊少年ジャンプ等の漫画を読むこと、アニメを観ること。また1日中寝ていられるそうです。“どんなことでもやってみないと分からないできないじゃない！やるんだよ！”という母の言葉が好きで、萌さんは「やっていないのに出来ないという人は嫌い」というとおり、仕事でも、何事にも果敢に挑戦しています。麦の里で働き始めからも、敬語を使うべきかどうか母に相談し、「敬語から初めて、信頼関係が出来てから考えなさい」とアドバイスをいただいたそうです。最近では障害について勉強し、そうすることでより良い支援をしていきたいと思い始めたそうです。日々仲間についていろいろな面を見つけれられて、彼女自身も楽しんでいますが、真面目に仕事に取り組む萌さんは、皆さんからも信頼と期待を寄せられて、今日も元気に麦の里で働いています。

お礼のコーナー 〈敬称略 順不同〉

◆◆麦の会の会員・賛助会員になっていただきました◆◆

会員更新：村松剛 菊池誠 加藤洋介 梶田邦江 加藤芹奈 中川加寿子 浜口元気
熊谷レイ子 光川由紀子 阪口千加 亀谷芳博 山中勇樹 小林恵里佳
谷口奈穂 村上直哉 小林和生 渡邊覚 輿石圭介 伊藤潤 小林和生
渡邊覚

賛助会員更新：山本シゲ子 下里加代子 ナガエ建設 匿名希望

◆◆社会福祉法人麦 及び 施設麦の里へ寄付金&物品をいただきました◆◆

瀬戸身障会 法音寺 光川由希子 梶田鉦子 春見重美 上野佐恵子 麦の穂 渡邊照予
職員有志一同 仲間有志一同 匿名希望者多数

—お詫びとお断り—

賛助会員の申し込み、バザー用品、また寄付金などのご協力を頂いた方については、事務処理の都合上掲載が次号になる場合があります。申し訳ございませんが、御了承下さい。（11月10日現在）
※春から継続して頂いていた方で、記載漏れがありました。今回、追加記載して、お詫び申し上げます。



新人職員紹介

ながいのぶひろ
永井伸広さん

生まれは愛媛県松山市、4歳には愛知県豊田市へ移住。現在64歳。186センチの長身です。エジプトの古代文明に興味を持って、大学は東京都W大学で歴史を専攻。卒業後は都内の“丸善”という国外の出版する書物を輸入する会社に就職。家業の新聞屋を継いでほしいと言われ、転職したものの馴染めずに廃業。それからはサラリーマンとして、トヨタ自動車関連部品の工場に定年まで勤めた後、派遣社員として介護の世界に入られました。

趣味は読書で、そのほとんどが翻訳された書物でSFやミステリーを好んでいます。音楽はジャズ、映画は白黒映画、特に“七人の侍”が好きで何度観たことかと笑って話してくれました。また、10代の頃からラグビー観戦が大好きで、昨年のワールドカップはチケットを入手出来なかったのもう一度日本でラグビーワールドカップが開催されるのなら観戦したいというのが現在の夢だということです。

座右の銘は、連合艦隊司令長官、山本五十六の格言。“やってみて、説いて聞かせて、やらせてみて、ほめてやらねば、人は動かじ”トヨタのような会社では、新人に仕事を教える時に、自分が新人に見せて、説明して、やらせてみる。上手くできた時には誉めてあげるのだそうです。

なりたい人物像は杉浦千畝さん。自分が殺されてしまうかもしれない状況の中で、危険を顧みず、自分が正しいと思ったこと、正しいと思った人助けをしてきた人生に感銘を受けたとのこと。

コロナの影響で派遣の採用を停止され、迷いながら面接をうけたところ、渡邊施設長の人柄に惹かれたことが、麦の里に来るきっかけだったそうです。モノづくりを長年してきたせいか、働いているとその発想になってしまう。仲間の一人一人を支援していくには、まだまだ体験して覚えていく事がたくさんある。それを経験してくことで、戦力となっていくことができると思うと話してくれました。

とまどう事はあつつも、よく仲間を見ながら、細やかな対応や声掛けと見守りをしていてくれる一方で、硬派な性格というか実直な人柄で、仲間たちの輪にとけこんでいます。

～ 麦の里、七色の麦で避難訓練を行いました～

今年も、麦の里では10月2日に、七色の麦では9月28日に避難訓練を行っています。回数を重ねて仲間たちもすっかり慣れてきましたが、今年も、避難に説得の必要な仲間が出て、だいぶ逃げ遅れていたようです。

今年も、麦の里では、道路を渡り、坂を上ったの避難に初挑戦しました。建物のすぐ外に避難しただけでは、消防自動車が進入できないという反省から、坂の上の駐車場まで避難する事にしました。けれど、距離のある場所へ避難するには、車椅子が必要になる仲間もいたことから、あらためて車イスでの避難訓練の大切さの分かる訓練となりました。

(い)

グループホーム夜勤職員募集

仕事内容 : 仲間の生活支援
勤務時間 : 15:00~翌朝10:00

仕事内容や勤務時間については、応相談！
皆で和気あいあいとやりましょう。

今後の予定

12月5日 餅つき大会
11日 イエローレシートキャンペーン
13日 山口ふれあい朝市出店予定
14日 床屋デー
18日 せと福祉マルシェ
19日 麦の会 役員会
22日 北山地区廃品回収予定
29日 仕事納め
30日~ 麦の里 冬休み

1月~3日 麦の里 冬休み
4日 仕事始め
10日 山口ふれあい朝市出店予定
11日 イエローレシートキャンペーン
16日 麦の里 1日活動日
26日 北山地区廃品回収予定
30日 麦の会 役員会

やすらぎ会館 木曜日

コロナウイルスの影響により、

12月は中止、1月も中止

※ 変更になる場合もあります。

会場

住所:愛知県瀬戸市川端町1-31

電話:0561-84-2011

パン、炭、EMボカシ等仲間と販売しています。
是非仲間たちに会いにきてくださいね。

機関誌を読んで下さっている皆様へ
今年も1年お世話になりました！
来年も宜しくお願いします！



障害者とともに歩む 麦の会
生活介護事業 麦の里
共同生活援助事業 七色の麦

〒480-1214 愛知県瀬戸市上品野町1354-12
電話(0561)41-4124/FAX(0561)41-3766
ホームページ: <https://www.mugisato.or.jp/>
Mail : nakamanowa@mugisato.or.jp

編・集・後・記

今回は成人を祝う会の特集です。
仲間の出し物は笑いがいっぱい、
ビンゴは仲間も職員も真剣そのもの！
生い立ち紹介では、とても感動的…
ぜひチェックしてください！ (や)